

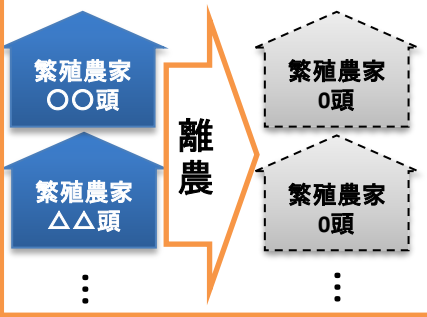
# 自治体、農協や個々の生産者が参加した総合的・継続的な支援体制の構築による新規就農者の確保

(宮城県)

- ・新規就農志向者に対し、自治体、農協、個々の生産者等地域ぐるみで、就農前の研修による技術習得から就農後の技術・経営指導まで、継続的なフォローアップをしながら支援。
- ・新規就農に当たっては、農協が施設整備事業を活用して繁殖牛舎、堆肥舎、繁殖雌牛を貸し付けることにより初期投資負担も軽減。

## 現状と課題

離農による飼養頭数の減



地域の生産基盤を継承していきたい

しかし

新規就農者等への資金面、技術面、経営面の支援体制が確立していない

## 課題

飼養頭数を増加させるためには担い手の確保が必要。

## 取組内容

新規就農者が定着できるよう、地域をあげた支援体制を構築

## 今後の展望

次の世代が安心して就農できる体制を確立

### 就農前：研修

### 就農：投資負担軽減

### 就農後：技術・経営指導

協議会の定期的な訪問と報告会により、必要な支援を特定し、実施

#### 自治体

希望者の募集  
就農支援に関する情報提供

#### 農協

- ・営農等全般的な相談
- ・資金面での支援

#### 家畜保健衛生所

衛生管理技術の指導

#### 地域の畜産農家

研修生の受入  
飼養技術の習得

施設整備事業で  
繁殖牛舎等整備  
繁殖牛導入  
(新規就農への投資を軽減)

貸付

#### 農業改良普及センター

飼養管理技術の指導  
経営管理指導

勉強会のアドバイザーや  
現地見学の受入により  
新規就農希望者を支援

サポート側へ

就農希望者

技術習得  
+  
支援

新規  
就農者  
30頭

新規  
就農者  
30頭

新規  
就農者  
50頭

経営の安定化

中心的な  
経営体

## 効果

- ① 新規就農者が農協から繁殖雌牛、繁殖牛舎等を借り受けることにより初期投資負担を軽減し、就農を円滑化。
- ② 地域ぐるみのサポートにより新規就農者が定着、地域の中心的な経営体に成長。

## 展望

定着した新規就農者も参加した地域ぐるみのサポート体制が確立され、新たな就農希望者が就農しやすい環境を整備。更なる新規就農を促進。